

松伏町民まつりで自衛隊をPR

埼玉地方協力本部は、十月十八（日）、埼玉県松伏記念公園で「地域のコミュニティを豊かにし、安全安心な暮らしのできるまちづくり」をテーマに開催された松伏町民まつりにおいて、広報活動を実施した。

平成三年に、町民融和を目的として始まったこのまつりは毎年三万人以上の来場者で賑わいをみせている。

埼玉地本のブースでは、高機動車と災害派遣写真パネルの展示や松伏町の協力のもと作成した自衛官募集の啓発グッズの配布を実施した。

良い天気恵まれ、広報官と募集相談員は途切れることなく訪れる来訪者に展示品の説明や、自衛官募集啓発グッズの配布を行った。災害派遣写真パネルを興味深く見入っていた親子は「近年多発した水害、火山噴火などの自然災害に対する自衛隊の活躍を見て、二人の息子も自衛官を目指して頑張ってほしいと思います。また、これからも自衛隊のみなさん頑張ってください。」と話し、資料を手に取りブースを後にした。

埼玉地本では今後も効果的な広報イベントを積極的に実施し、募集基盤の強化につなげていく。



神川町コスモスまつりで自衛隊をPR

埼玉地方協力本部は、十月十八日（日）、神川ゆくゆくランドで実施された「2015神川町コスモスまつり」において、募集ブースを開設し広報活動を実施した。

秋晴れの空の下、本祭りは古美術展や菊花展の他、舞踊、コーラス、よさこいやキッズダンスなどが披露され、来場した多くの人を楽しませていた。

地本ブースでは陸海空自衛隊の活動の写真パネル展示の他、戦闘糧食、高機動車、鉄帽、防弾チョッキ等を展示し、ブース内は多くの来場者で賑わった。特に高機動車は人気が高く、多くの人が足を止め興味深く見入っていた。広報官から装備品や活動の話を聞いた小さな子を持つお母さんからは「どんな過酷な状況でも活動ができる自衛官が頼もしいと思います。うちの子も将来は自衛官を目指してほしい」と大きな関心を示していた。

埼玉地本は今後も身近に自衛隊を感じてもらえるような広報イベントを実施していく。

